

**授業概要**

本講義は、企業会計の理論を学ぶものである。授業では、会計諸規則や会計の諸概念を体系的に説明するとともに、主な会計処理問題を会計制度に織り込みながら解説する。

特に、本講義では、企業会計の基礎を理解したうえで、貸借対照表及び損益計算書の原理を中心に解説する。

**授業計画**

第 1 回	企業会計の意義
第 2 回	企業会計と会計制度
第 3 回	貸借対照表①（意義と構造）
第 4 回	貸借対照表②（資産、負債及び純資産の区分）
第 5 回	貸借対照表③（作成原理と分析基礎）
第 6 回	損益計算書①（意義と構造）
第 7 回	損益計算書②（収益費用の区分と認識及び測定）
第 8 回	損益計算書③（作成原理と分析基礎）
第 9 回	売上高と販売形態
第 10 回	棚卸資産の会計
第 11 回	固定資産の会計
第 12 回	無形固定資産と繰延資産の会計
第 13 回	負債性引当金の会計
第 14 回	社債の会計
第 15 回	純資産の会計（株主資本と時価評価差額など）
第 16 回	定期試験

**到達目標**

経済経営のグローバル化に対応できるように、財務会計に関する高度の専門性と経済経営社会への関心や国際的な視野を広げることを意図している。

**履修上の注意**

複式簿記の原理を十分に理解していることが望ましい。

**予習復習**

授業の理解度を高めるために、講義内容に合わせて簿記検定の既述問題を解かせる。

**評価方法**

定期試験(80%)及びレポート(20%)で評価する。

**テキスト**

- ・近田典行編著『会計学ベーシック』中央経済社
- ・必要に応じて、資料を配布する。